KAKUDAI

電 磁 弁

取扱施工説明書

施工前・使用前に必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

安全上のご注意

施工前・使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 注意　取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。

- ⚠ 気をつけていただきたい「注意」を表します。
- 分解しないでください。
- 🚫 してはいけない「禁止」を表します。
- ❗ 必ず実行していただく「強制」を表します。

施工上のご注意

- 🚫 本製品は屋外設置型です。屋内には絶対に設置しないでください。
- 分解・改造はしないでください。（アダプター等を使ってのAC100Vとの結線など）
- ❗
  - ●本品は必ず取外しのできる配管に取付けてください。
  - ●本品は凍結が予想される場所には設置しないでください。
  - ●本品の二次側に止水機構をもつ製品は設置しないでください。
  - ●本品を設置する際は、必ず配管の手前（一次側）にバルブを設置してください。
  - ●本品を設置する際は、必ず配管の手前（一次側）にストレーナーを設置してください。
  - ●本品を設置する配管の水圧が0.5MPa以上の場合には、減圧弁で水圧を0.5MPa以下にしてください。

使用上のご注意

- 分解・改造はしないでください。（アダプター等を使ってのAC100Vとの結線など）

仕　様

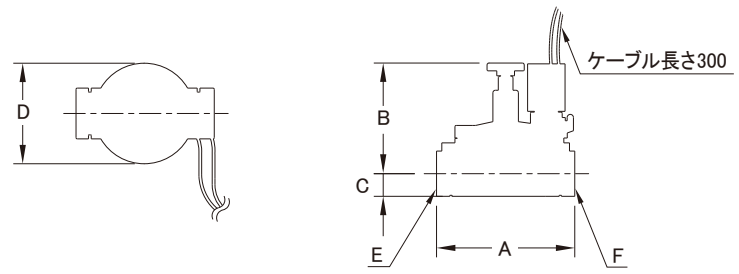
●仕　様

用　途	屋外潅水用
通水流体	水（上水道水・工業用水）
流体温度	1～40℃
作動水圧	0.1～0.5MPa
電　源	DC9V

●性能表

水　圧　(MPa)		0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
流量(L/分) 品番	504-031-13	–	14	40	69	76
	504-031-20	36	41	98	122	134
	504-031-25	36	41	112	147	162
	504-031-40	37	80	168	201	201
	504-031-50	45	80	168	201	201

寸法図



寸法(mm)		A	B	C	D	E	F
品番	504-031-13	70	80	13	43	Rc1/2	Rc1/2
	504-031-20	108	90	18	81	Rc3/4	Rc3/4
	504-031-25	110	92	22	81	Rc1	Rc1
	504-031-40	160	143	32	127	Rc1 1/2	Rc1 1/2
	504-031-50	170	151	39	127	Rc2	Rc2

取付けの前に

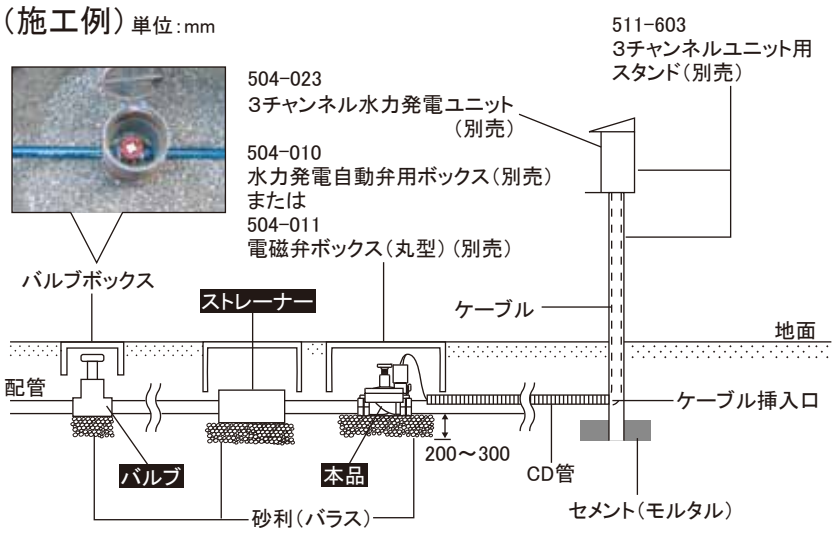
*数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉めて取付作業を行ってください。

●本品を取付ける前に、下記の施工例のようにバルブとバルブボックスおよびストレーナーを必ず設置してください。

●ケーブルは必ず樹脂管（CD管）などを通し、防水テープなどで防水してから配線してください。

❗
- ●本品を設置する際は、必ず配管の手前（一次側）にバルブおよびストレーナーを設置してください。
- ●ケーブルは必ず樹脂管（CD管）などを通し、防水してから配線してください。

（施工例）単位：mm



●ケーブルの延長について

ケーブルを延長する場合は、504-032キャブタイヤコード（潅水用）（別売）を使用し、下記の＜適合ケーブル（キャブタイヤ）対応表＞を参照して、現場に合わせて延長してください。

＜適合ケーブル（キャブタイヤ）対応表＞

線　長	5m以下	20m以下	50m以下	100m以下
芯　線	0.3sq以上	0.75sq以上	2sq以上	3.5sp以上

❗ 電圧抵抗、損失の負荷があると作動しない原因になりますので、適合ケーブルをご使用ください。

●ボックスについて

本品を設置される際は、本品のサイズに合わせて下記のボックス（別売）をご使用ください。

504-031-13・20・25の場合：504-011 電磁弁ボックス（丸型）
504-031-40・50の場合：504-010 水力発電自動弁用ボックス

取付方法

1. 本品を設置します。

①本品の設置場所を決定します。

> ⚠ 本品の設置場所を決定する際は、ケーブルの長さに余裕があるようにしてください。
> 埋設した際にケーブルが断線する恐れがあります。

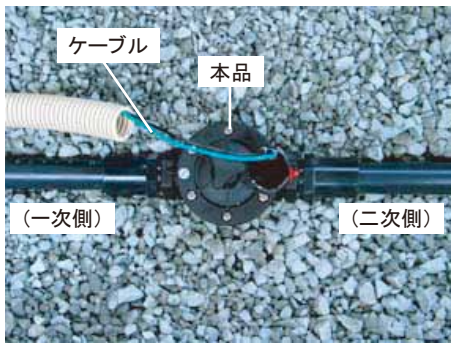
②設置場所を配管下部より200～300ミリ掘り下げてから砂利(バラス)を敷きます。

> ❗ 本品を埋設する際は必ず排水用の砂利(バラス)を敷いてください。

③数秒間バルブを開き、配管内のゴミを洗い流します。

④写真のように本品の一次側に配管を接続します。
＊取付ネジのサイズは「寸法図」をご参照ください。

⑤本品の二次側に配管を接続します。



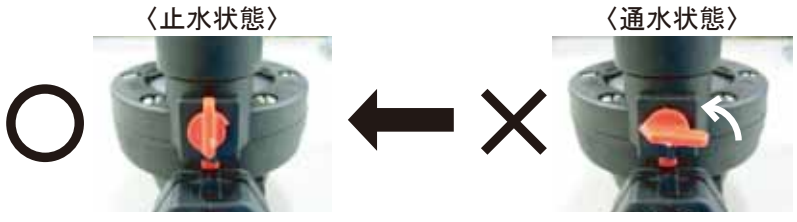
(504-031-13の場合)

(504-031-20～50の場合)

●504-031-20～50に関しては

電磁弁コックが下図のように止水状態であることを確認します。
止水状態でない場合には、コックをまわして止水状態にします。

〈止水状態〉　〈通水状態〉



電磁弁コックをまわして止水状態にしてください。

⑥現場に合わせてケーブルを延長します。
このとき本品のケーブル(黒色および緑色の線)をそれぞれ延長したケーブルのどの色の線に接続したか覚えておきます。
＊複数の電磁弁を設置する場合はコンピューターボックスに接続する際に区別できるように目印をつけておいてください。

> ⚠ ケーブルの長さは余裕があるようにしてください。
> 埋設した際にケーブルが断線する恐れがあります。

⑦ケーブルを樹脂管(CD管)に通し、樹脂管(CD管)の両端を防水テープなどで必ず防水してください。

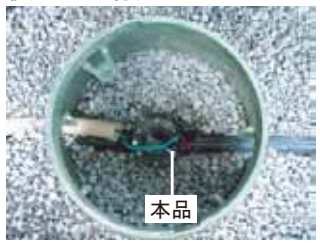
> ❗ ケーブルは必ず樹脂管(CD管)などを通し、防水してから配線してください。

2.ボックスを設置します。

電磁弁用のボックスを設置します。
＊504-031-13～25の場合は電磁弁ボックス(丸型)(504-011:別売)、504-031-40･50の場合は水力発電自動弁用ボックス(504-010:別売)をそれぞれご使用ください。

> ⚠ 取付けの際に、ボックスと配管が絶対に干渉しないようにしてから取付けてください。施工後ボックスに過重が掛かりますと、配管に干渉し破裂する恐れがありますのでご注意ください。

504-011
電磁弁ボックス(丸型)を使用した場合



504-010
水力発電自動弁用ボックスを使用した場合

3.潅水コンピューター(別売)にケーブルを接続します。

潅水コンピューターに同梱されている取扱施工説明書を参照して、ケーブルを接続してください。

4.各部に水もれがないかを確認します。

①本品の配管の手前(一次側)に設置したバルブを開きます。

②潅水コンピューターの操作パネルを操作して通水し、各部に水もれがないか確認します。
＊水もれが発見された場合は操作パネルを操作して止水し、水もれする箇所を施工しなおしてください。

③操作パネルを操作し止水します。

5.水やりの設定を行います。

別紙コンピューター設定説明書を参照し、水やりの設定を行ってください。

ご購入店名(施工業者名)

●水と住まいの接点
株式会社カクダイ
本社　〒550-0012　大阪市西区立売堀1-4-4　☎(06)6538-1124

0515**
M-I0120E

無断転載・複写を禁ず